

地域医療連携室ニュース 第71号 2017年2月

基本理念

～創意に富み 思いやりのある
信頼される病院をめざして～



晩冬の候、まだまだ寒い日が続いておりますが、地域の医療機関様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。さて、今回の地域医療連携室ニュースでは、当院のインフルエンザ状況や大規模災害時の対応を想定した訓練の様などをお送りいたしますのでご覧下さい。

インフルエンザ速報 (大阪府立公衆衛生研究所/感染症情報センター/ インフルエンザ関連情報の定点報告より)



当院は、1月23日よりインフルエンザ流行期から注意報レベルへ切り替えて対応することが決まりましたのでお知らせいたします。尚、注意報レベルの対応により、**入院患者様との面会が一時的に禁止**（家族、病院が許可した方は除く）となっております。

胃・大腸内視鏡 鎮静下での予約が可能になりました！

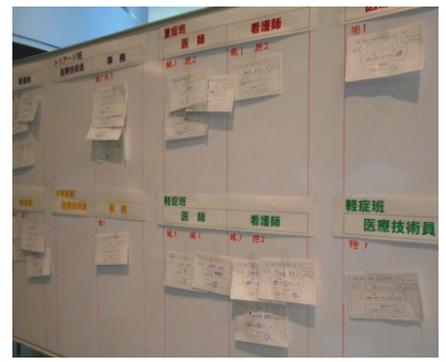


これまで鎮静下による胃・大腸内視鏡検査は診察からのご案内としておりましたが、**直接検査のお申し込みが可能**となりました。従来の胃・大腸内視鏡検査の間診票と同意書とあわせて鎮静下の同意書も予約券と一緒にFAXさせていただきますのでよろしくお願い致します。

大規模災害訓練



平成29年1月17日（火）16：00～大規模災害訓練を実施致しました。各部門の医師を含むスタッフがそれぞれの役割を持って訓練に取り組みました。地域住民にとって、安心して安全な病院をめざし、今後もこのような取り組みを行ってまいります。





平成28年度 市民公開講座
-これだけは知っておこう 病気・治療の豆知識40分講演-

§ **がんと向きあうために** §

がん看護専門看護師 山内 洋子

開催日
11月17日(木)
参加人数
36名



がんに伴う症状がQOLに及ぼす影響

<患者さん>

- 通常の日常生活を送ることが困難
- 社会性が制限されたり、役割を喪失する
- 精神的苦痛（抑鬱、不安、可立ちなど）
- 生きる意味や価値を見出せない
- 意思決定も困難となり、適切な治療選択ができない

身体症状がマネジメントされて、初めて患者は
充実した生き方を主体的に考えることができる

<ご家族>

- 痛みのある患者さんのご家族は緊張やうつが強い



§ **前立腺がんの診断と治療** §

泌尿器科部長 井上 均

開催日
12月7日(水)
参加人数
56名



前立腺がんの治療

早期がん（限局性）には局所療法
進行がん（局所浸潤）には局所療法または併用療法
転移がんには内分泌療法が主体

限局性 局所浸潤 転移あり

局所療法

一次内分泌療法（ホルモン療法）
二次内分泌療法・化学療法



§ **ひざの痛みが出てきたら -変形性膝関節症について-** §

整形外科部長 宮崎 忠勝

開催日
1月24日(火)
参加人数
70名



変形性膝関節症

膝の老化

- 関節の軟骨がすりへり、関節が変形してきます
- 関節の滑りが悪くなる
- O脚やX脚など足の変形
- 膝が多くその他に股関節、背骨、指で起こります



次回の講演

2/24 (金)	急病救急総合診療部 中尾 真一郎 医師 13:30~	東館2階 講堂
	「どこの科にいけばいいですか? ~総合内科の役割~」	
3/23 (木)	外科 安座間 隆 部長 13:30~	東館2階 講堂
	「乳がんに関する最近の話題」	



発行・編集：市立池田病院 地域医療連携室 事務局

問い合わせ：072-754-6379（直通） 発行日：平成 29 年 1 月 31 日